

みやけの風

第 144 号

平成15年(2003年)10月4日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

「何か気分の晴れる本はない？」と聞いたところ、「『阿弥陀堂だより』がいいわよ」と長い付き合いの友人にすすめられました。山深く雪深い信州でお医者さんをしている南木佳士さんという方の本です。寡作な作家なのですが、どの作品も読むと人に優しい気持ちになれます。『家族』『ダイヤモンドダスト』など、作品は文春文庫から出ています。読書の秋。どんな本を読まれますか？

みんなの声

大崎さんの村議会傍聴記

9月25日に行われた、第3回村議会定例会を傍聴してきました。今回は、東久留米に避難している仲間2人と一緒です。議会の傍聴にいきませんかと声をかけてみたら、一つ返事で行こうということになりました。議会に対する関心も高まっているんだなと感じました。

その日は、3人の議員が質問に立ちました。それぞれ、印象に残った質問を一つずつ上げてみたいと思います。

まず、1番目の浅沼功一郎議員。

一時帰島で家を直しに行きたくても、年老いて直しに行けないものが、代わりに息子に行ってもらおう時、住民基本台帳に登録されていないと自分で船賃を払って行かなければならない。息子が代わりに行くのだから、住民として扱って無料とするべきだ、という主旨の質問に。

村長は、無料の対象範囲は従来どおりです、と答弁。

次に、寺本恒夫議員が立ちました。

村がこれから行おうとしているアンケート調査に住民が答えるにも、帰島してからの農業や漁業・民宿などの各種個人事業の復興プランやビジョンを示してもらわないと、安全対策の発表のみでは、キチンと答えられない、という主旨の質問に。

助役は、まず安全対策が必要だ。その後

でなければ復興プランも実行できない、と答えました。そして、事業計画は今検討中で、年明け1月に、議会で報告する予定です、と述べました。

そしてさらに、寺本議員が発言した、畑の復興は帰島してからでは遅すぎる、先遣隊を入れて準備を始めるべきだ、という言葉が強く心に残りました。

最後に佐久間達己議員です。

村営住宅の建設の見通しを聞き、帰島を早めるためにも、作業員を増員してインフラ工事が遅れないようにするべきだという質問に、村長は、村営住宅は今年度着工を目指していると答え、作業員用に民宿の活用を都と協議していると答えました。

こんなふうに、議員・行政双方の真剣なやりとりが繰り広げられました。それにしても、帰島の日にちの具体的な予定が何月何日なのかということに触れなかったが、とても奇妙に思えました。

9月29日朝のNHKニュースで、民宿に100名を泊めることになったと報じられたことについて、民宿の営業が再開されることになりそうで、これでまた一步島の復興が前進することになります。

私たち住民が一番知りたいのが、この帰島の予定日。いつ聞けるのでしょうか？いつまで待てばいいのでしょうか。

(東久留米市 大崎 興洋)

三宅島災害・東京ボランティア支援センターより

きんもくせいの香りが街のあちらこちらで感じられ、すっかり秋らしくなってきました。皆さま、いかがお過ごしですか？ さて、三宅島災害・東京ボランティア支援センターでは、冬に入る前の気候のよいうちに、恒例のふれあい集会を開催したかと考えています。次回の島民連絡会会議定例会のなかで、島民の皆さまにご提案させていただき、あわせて、島民実行委員として、集会を支えていただける方を募りたいと思います。是非、会議にご参加の上、ご意見をお寄せいただきますよう、お誘い申し上げます。

日時：10月11日(土) 13:30～

場所：飯田橋セントラルプラザ10F AB会議室

内容：三宅島災害・東京ボランティア支援センターより三宅島
島民ふれあい集会についてのご提案 ほか

アカコッコ館からのお誘い

「島の話をしよう」

噴火から3年、島について思うことはいろいろあります。でも日々の暮らしの中で、あまりゆっくりみなさんと島の話をしていないような気もするのです。島でくらす不安や楽しさ、自然の美しさとかわさ、そしてこれからの暮らし……。

もしよかったら、島の写真などを持ち寄って、島の話をしませんか？ ご家族と一緒にもおひとりでも結構です。小さなお子さんの託児もできます。場所は南大沢市民センター、10月25日(土)の13:30～16:30です。みなさんのお越しをお待ちしています。

日 時：2003年 10月25日(土) 13:30～16:30

場 所：南大沢市民センター 3階会議室1 TEL:0426-79-2209

(八王子市南大沢2-27 南大沢総合センター3階、
京王相模原線「南大沢駅」から徒歩5分)

人 数：30名(親子可、先着順)

参加費：無料

持ち物：お気に入りの三宅島の写真を数枚

申込み：住所・氏名・電話・年令(託児の有無)を

電話またはファックスでお知らせください。

三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館/担当 山本

財団法人 日本野鳥の会サンクチュアリ室

TEL 03-5358-3517 FAX 03-5358-3608

耳 寄 り
情 報

「JHP・学校をつくる会」

チャリティーイベント2003へ無料ご招待！

子どもたちの教育支援のためにJHPの活動はカンボジアに学校をつくって10周年！これまでにカンボジアに90校舎が完成。井戸やトイレ建設、また学校建設以外にも音楽、美術、衛生教育プロジェクト、孤児院支援プロジェクト、ボランティア派遣活動など大きな成果をあげることができました。

今回は「カンボジアに学校をつくって10周年！」の呼びかけに、武田鉄矢さん、海援隊、さとう宗幸さん、LILY(リリィ)-YOJI(ヨージ)さん「3年B組金八先生」の出演者の皆さまに駆けつけて頂き、歌とトークの楽しいコンサートを繰り広げます。また桜中学卒業生(パート5・6)による恒例のソーラン節、葵新連の皆さまによる阿波おどりなど日本の心をお届けいたします。パリエーション豊かなチャリティーイベントをお楽しみ下さい。

三宅島の皆さまには、長い避難生活でご苦労されていることと思います。各地に避難しているご家族の皆さまをご招待し、ステージより心から声援を送らせていただきます。

参加ご希望の方は、官製はがきに「JHPチャリティーイベントチケット希望」と

氏名(ふりがな) 現住所 電話番号 をご記入の上お申し込み下さい。

抽選で50組100様に(官製はがき、1枚で4名様まで申し込み可です)

チケットをお送り致します。

日 時：平成15年 11月13日(木)

17:30開場、18:00開演、21:00終演

会 場：メルパルクホール(東京郵便貯金ホール・港区芝公園)

15:00より会場ロビーにてチャリティーバザーを行います。芸能人のご提供による衣類、バッグ、雑貨、食品、小物など盛りだくさんです。

申し込み：JHP・学校をつくる会 事務局(担当：伊藤)

電 話： 03-5414-1774 (平日、月から金、10時から6時半まで)

締 切：平成15年 10月31日(金)必着